

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-172579(P2011-172579A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2011-83817(P2011-83817)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	15/00	G
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	27/02	

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月27日(2011.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の構造を有する化合物：

5'-(N)<sub>x</sub>-Z3'-(アンチセンス鎖)

3'Z'- (N')<sub>y</sub>5'-(センス鎖)

式中、それぞれのNおよびN'は、その糖残基が修飾されていても、または修飾されていてもよいリボヌクレオチドであり、かつ(N)<sub>x</sub>および(N')<sub>y</sub>は、それぞれの連続したNまたはN'が、共有結合によって次のNまたはN'に連結されているオリゴマーであり；

式中、それぞれのxおよびyは、19～40の間の整数であり；

式中、それぞれのZおよびZ'は、存在しても、または存在しなくてもよいが、存在する場合、dTdTであり、かつそれが存在する鎖の3'末端にて共有結合で付着されており；および、

式中、(N)<sub>x</sub>の配列は、配列番号：21～38、192～344および381～416に記載した配列のいずれか1つを含む。